

市議会だより

第23号

平成21年(2009) 11月15日発行

発行・飯山市議会
編集：市議会だより
編集委員会

〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005
インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

9月定例会概要

平成21年9月定例会は9月1日から9月18日までの18日間の会期で行われました。

今定例会では、平成20年度一般会計・各特別会計・事業会計歳入歳出決算議案14件、平成21年度一般会計補正予算(総額2億2340万円)・平成21年度特別会計・事業会計補正予算(総額2億8431万1000円)の各予算案13件のほか、条例の改正案など5件の計32議案が市長から提出されました。



飯山トンネル入り口 工事が進む

8日から10日にかけては、一般質問に14名の議員が登壇し、11日、14日、15日には総務・産業建設・社会文教委員会で付託された議案について審議しました。最終日18日には、教育委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任に同意し、議案についてはすべて原案のとおり認定・可決しました。また、陳情4件の審査の結果は、2件を採択、1件を継続審査、1件を不採択としました。

一般質問

9月定例会にて14名の議員が一般質問を行いました。



西條豊致議員

◆安心安全な飯山市に樽川堤防の維持管理について

【質問】 県管理の樽川は河川敷及び堤防に雑木が繁茂しひどい状態である。その後の経過及び計画は。

【部長】 一級河川を管理する北信建設事務所は雑木等の除去作業に係る事業費の補正予算を要求し、問題認識はしており検討している。

【質問】 河川整備計画と住民懇談会の開催は。

【市長】 政権が代わったこともあり、千曲川河川事務所からは、整備計画骨子の公表及び、懇談会の開催時期については未定とのことである。

【質問】 中央橋東側国道403号の街路計画と合わせ、城南中学校への安全な道路計画は。

【市長】 中央橋架け替えは本年国庫補助事業採択で1億円の予算がついた。国道403号については橋梁設計の状況を見ながら新幹線駅へのアクセス道として早期に道路を検討したい。

【教育長】 木島地区からは現在の中央橋では通行に支障があるため、通学路は市道3-124号と3-205号に決定している。3-124号の歩道設置は難しいが、街灯は地元区から要望があれば検討する。



現在の中央橋

◆堆肥センターについて

【質問】 東京高裁で県が敗訴したが今後の県の方針と市長の考えは。

【市長】 市として県の担当者が見えた時も状況を説明した。

【部長】 判決の内容は、圃場への搬入物が未熟という十分な理由が見出せず、廃棄物処理法に違反するとの県側の証明は不十分であり、処分は取り消すべきであるという趣旨である。

【質問】 消防団員の定数見直しについて。

【部長】 人口減から定数割れが拡大しているが、一律の減員でなくいろいろ考慮し考えたい。

◆菜の花バス・タクシーについて

【質問】 デマンド方式の菜の花タクシーは、市民からの評価が高い。これに対し、長電バス等の路線バス系の運行は、路線が幹線沿いに限定され、停留所間の距離が離れ過ぎ、また集落から停留所が遠いなど、利用者が大変苦慮している。同じ市民でありながら住むところによって格差が生じている。公平な運用方法を考える必要があるのでは。

【市長】 長電バスの路線については、ほとんどお客さんが乗っていない現状で動いているが、これにも多額な支出をしている。しかし、この路線を廃止してしまうと問題もあるので、デマンド交通も含めて対処していきたい。



菜の花バス



山崎一郎議員

◆新幹線アクションプランについて

【質問】 市が策定した「新幹線アクションプラン」には、関係市町村や関係機関と協議をへて策定したと記されているのに、駅の利活用について管内市町村にかなりの温度差がある。現実をどのように受け止めているか。

【市長】 作成と同時に北信広域議会や関係市町村に向いてしっかりと説明を申し上げてきた。「飯山駅」は飯山の駅ではない、広域の駅であると言いつけてきたし、今もその気持ちは変わらない。また、地域全体の振興こそ飯山の振興につながると考えているが、温度差のあることは認識している。我々が考えているほど飯山駅の開業について広域それぞれに関心が少ないことと、メリットについての研究が進んでいないと思う。



飯山駅周辺 新幹線

【質問】 協議と説明は違う。市独自のことなら説明でもいいが、広域に関わる事については、丁寧な協議を重ねることが大切と思うが。

【市長】 協議するような体制に熟していないことが温度差となっている。今こそというタイミングをみて今後進める。



沼田喜一議員

◆高校統合について

【質問】 統合となる3校にはそれぞれに貴重な文化的資産があり、その取り扱いが問題になっている。県教委の方針に地域が協力して高校統合が実現するものであるから、それらを一同に保管・展示し市民に公開できる施設を県に要望すべきと考えるがどうか。

【教育委員長】 非常に重要な問題であるので十分検討していきたい。

◆決算について

【質問】 3カ年平均で求められる実質公債費比率は、前年度から0.5ポイント改善し、平成20年度は18.6%となった。今後の計画では、18%あるいはそれ以下になる見通しと説明されているが、その根拠は何か。

【部長】 今回の実質公債費比率は、平成18年から20年の3カ年平均であり、20年度単独だと17.48%で18%を下回っている。今後の見通しは、起債の新規借入金金の抑制等及び低金利により公債費負担が大幅に減少すること等多くの改善要素が見込まれることから、次年度では、実質公債費比率は18%を下回る。

◆専決処分事項について

【質問】 ほとんどの定例会のたびに、公用車による車両事故の損害賠償について、専決処分の報告がされている。幸い重大な事故に発展していないが、接触事故等が余りにも多く見受けられる。安全運転の管理はどうなっているのか。

【部長】 市民から預けていただいている大切な公用車であり、日常安全運転を喚起している。やむを得ず事故を起こしてしまった時には、自動車学校での特別講習を義務付け、事故の減少に努めている。